

令和6年度 鳴滝高校【昼間部 職員】学校評価

評価基準 [4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:ほとんどあてはまらない]

A:3.0以上 B:2.5以上 C:2.0以上 D:2.0未満 比較:0.2差○▼

分野	評価項目	目標・具体的方策	R4	R5	R6	総合評価
学校運営	方針・努力目標	学校の実態に即した努力目標が設定され、教師間の理解の下に、目標の具現化を図る。				
		①校務分掌や学年次等の方針に学校方針・目標を具現化する方策を盛り込んで実践する。 ②方針・努力目標に基づいた教育活動を実践する。	3.3	3.2	3.3	A
組織運営	校務分掌	各分掌・学年次及び各自の役割を認識し、適切に仕事を処理する。 ①各分掌・学年次の活動について、適宜、反省・評価を行う。 ②各分掌・学年次間で有効に連携する。	3.3	3.4	3.4	A
		3.0	3.3	3.4	A	
教育活動	各種委員会	各種委員会を適切に設置し、その活動の効率化と活性化を図る。 ①必要な委員会を設置し、効率よく開催する。 ②委員会での話し合いの結果を教育活動や学校経営などに活かす。	3.2	3.2	3.2	A
		3.2	3.0	3.2	○ A	
教育活動	教育課程と科目登録	単位制の特徴を生かした教育課程を編成して、受講登録を円滑に行う。 ①7月までに、教育課程を編成する。 ②7月までに、生徒へ科目選択・学習方法を理解させ、3月上旬に科目登録を完了する。	3.4	3.4	3.5	A
		3.3	3.3	3.5	○ A	
教育活動	教科指導	学力の向上を図る。 ①チャイムと同時に学習を開始し、落ち着いて学習できる環境をつくる。 ②成績不振生徒に対する添削指導や学習会を充実させる。 ③教科指導を工夫・充実し、単位修得率を前年度より高める。	3.1	3.1	3.0	A
		2.9	2.9	2.9	B	
教育活動	生徒指導	③教科指導を工夫・充実し、単位修得率を前年度より高める。	2.7	3.0	3.0	A
		基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚を図る。 ①挨拶運動や登校指導、個人面談などを実施して、生徒との信頼関係をつくる。 ②携帯電話の使用や状況に応じた態度・服装・挨拶等、公共のマナーを身に付けさせる。 ③いじめ防止基本方針に基づき、防止と早期発見に努め組織的に対応する。	3.0	2.9	3.0	A
教育活動	生徒支援(新規)	2.6	2.5	2.5	B	
		3.2	3.2	2.8	▼ B	
教育活動	特別活動	生徒一人一人を大切にし、健康な体としなやかな心の育成を図る。 ①生徒の状況把握、教育相談の充実により心身の健康を保持し、安定した学校生活を支援する。 ②情報交換会や職員研修会を実施して、職員の共通理解を深める。 ③SC、SSWおよび関係機関等との連携を密にして組織的に生徒の修学を支援する。	3.1	3.2	3.3	A
		3.3	3.4	3.4	A	
教育活動	進路指導	3.6	3.4	3.4	A	
		生徒会活動・学校行事などの活性化を図る。 ①特別活動におけるリーダーを育成する。 ②活動内容を工夫し、生徒全員が協力して行事に取り組み、昼間部の伝統を築く。 ③ボランティア活動を充実させる。	2.9	3.0	3.2	○ A
		3.1	3.1	3.3	○ A	
		2.6	2.8	3.0	○ A	
教育環境	環境美化	生徒の進路意識を高め、希望者の進路実現率100%を目指す。 ①進路調査や講演会、進路だよりなどを通して進路意識を高める。 ②補習や添削指導などを計画的に実施する。	3.0	2.9	3.2	○ A
		2.9	3.3	3.1	▼ A	
教育環境	施設設備の管理	清掃・美化活動を徹底し、明るく衛生的な教育環境の維持とエコ意識の高揚を図る。 ①美化意識の調査や広報活動など、美化委員会活動などの充実を図る。 ②日常清掃や特別清掃などに積極的に取り組む。	3.0	3.1	3.1	A
		3.2	3.2	3.0	▼ A	
開かれた学校	PTA活動	生徒及び学校の安全確保のため、施設設備の安全管理を図る。 ①日常的に、各職員の管理箇所の点検を行い、整備に努める。	3.3	3.3	3.3	A
		2.9	2.6	3.3	○ A	
	地域と連携	PTA活動を活性化させ、積極的な活動を図る。 ①学校行事(PTA総会・体育祭・文化祭等)の情報を提供し、会員の参加を増やす。	2.8	2.7	3.1	○ A
	情報提供	学校を地域に開放し、交流と連携を図る。 ①学校施設の開放や公開講座、学校行事への招待、地域との懇談会等を充実させる。	2.9	3.3	3.3	A
		①学校HPの更新を定期的に行い、かつ、文書提供を適宜行う。	2.9	3.3	3.3	A